

《担当者名》教授 / 平野 剛
 講師 / 中山 章 講師 / 櫻田 涉 講師 / 早坂 敬明

【概要】

欧文誌論文の抄読を中心とした演習を通して、英語読解力・論文作成能力を養い、さらに実務薬学特論の講義内容について基礎的理解並びに実務薬学に関する応用的知識を深めることを目的とする。

【学修目標】

- ・医療現場が遭遇する種々の薬物療法に関する問題点を抽出し、その解決法を見出すことで、薬剤師の役割と意義についても理解を深める。
- ・臨床における諸課題や最新の知見などを中心に総合的に学ぶとともに、得られた成果について十分に考察し、学会発表や論文投稿を実践する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 3	がん薬物療法専門薬剤師業務	<ul style="list-style-type: none"> ・エビデンスに基づいたがん領域の薬物療法に関する情報収集と評価ができる。 ・がん領域の薬物療法のモニタリングと必要な薬剤の副作用を把握し、その対処方法を説明できる。 ・抗悪性腫瘍薬の体内動態を学び、特異的な副作用の発現機序とその回避法及び対処法を説明できる。 ・種々のがん化学療法レジメンを学び、施行時の注意点を説明できる。 	平野 剛 中山 章 櫻田 涉 早坂 敬明
4) 6	感染制御専門薬剤師業務	<ul style="list-style-type: none"> ・消毒剤、微生物、耐性菌等について説明できる。 ・感染症疾患の病態と患者特性について説明できる。 ・感染症法等の関連法規やチーム医療の一員としての役割について説明できる。 	平野 剛 中山 章 櫻田 涉 早坂 敬明
7) 9	精神科専門薬剤師業務	<ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患の病態と患者特性を十分理解し説明できる。 ・患者個々の症状や状況に合った薬物療法を説明できる。 ・向精神薬による副作用の予測ができ、その解決方法を説明できる。 	平野 剛 中山 章 櫻田 涉 早坂 敬明
10) 12	妊婦・授乳婦専門薬剤師業務	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠・授乳期の母体の生理的な変化と特性、妊娠週数にあわせた胎児の薬剤感受性を説明できる。 ・妊娠・授乳期に使用される医薬品の薬理作用、体内動態、生殖発生毒性を説明できる。 ・妊娠・授乳期の患者個々の症状や状況にあった薬物療法を説明できる。 	平野 剛 中山 章 櫻田 涉 早坂 敬明
13) 15	HIV感染症専門薬剤師業務	<ul style="list-style-type: none"> ・HIV感染症の病態について説明できる。 ・患者の症状や状況に合った薬物療法を説明できる。 ・抗 HIV 薬の相互作用や副作用を説明できる。 ・HIV感染症医療、自立支援医療、障害者医療制度等のHIV感染症に関連する医療制度並びに関連法規を説明できる。 	平野 剛 中山 章 櫻田 涉 早坂 敬明

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

研究報告（100％）

【教科書】

講義毎に資料を配付する。

【備考】

臨床薬学総合実習 旧カリ参照

日本病院薬剤師会 専門薬剤師・認定薬剤師 参照

【学修の準備】

研究の対象となる医薬品の作用機序や副作用、体内動態などについて、事前に把握しておくこと。

【実務経験】

平野 剛（薬剤師）、中山 章（薬剤師）、櫻田 渉（薬剤師）、早坂 敬明（薬剤師）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での薬剤師としての実務経験を活かし、実践的な教育を行う。